

富山大学卒関西技術士会 リモート定例会などの活動状況

松永健一（昭和 47 年度機械科卒）

かなり前のことになりますが、平成 29 年 9 月 30 日（土）、関西地区で活動する富山大学出身の技術士により、名称に「関西」をつけて大阪で「富山大学卒関西技術士会」が発足しました。国内に「大学技術士会」が数多く存在する中で、富山大学出身の技術士の親睦などを図る目的で発足したものです。併せて、会長を林茂明（昭和 33 年卒）に決定し、細々ながら現在まで活動が続けています。発足当時、仰岳会関西支部総会に出席された棚邊一雄仰岳会元会長ほかに、設立趣旨を説明しご賛同をいただくとともに、今後の活動へのご協力とご支援をお願いしたことが、最近のことのよう思い出されます。

当初は、関西地区に在住の会員だけで発足しましたが、その後、会員が郷里（富山県）に活動の場を移したり、富山県在住の会員が新たに参加したりして、現在の会員数は、関西在住者 7 名、富山県在住者 2 名の合計 9 名となっています。また、各自の保有する技術士資格の部門は、機械部門、電気電子部門、建設部門、原子力・放射線部門、総合技術監理部門等々です。

初期には、大阪に集合して懇親会などを対面で開催しておりましたが、コロナ禍になってからは、zoom によるリモート会議として開かれるようになり、現在では月 1 回の定例会が、第 3 金曜日などに開催されています。話題はと言えば、個々の技術士活動の近況、アマチュア無線の活動（資格取得、運用など）の話題、最近の科学技術に対する意見交換、富山県の観光資源（金太郎温泉など）の話題など、とても多彩です。現在は年配者が多いのですが、若手の参加も得て、さらに活動の場が広がることを期待しています。